

21世紀の日本のかたち（58）

—韓国に見る首都機能移転・世宗市の建設—



戸沼幸市

<（一財）日本開発構想研究所 代表理事>

1. 新行政中心複合都市「世宗市」再訪

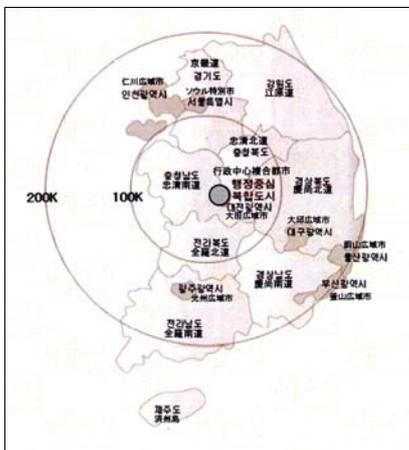
今、韓国の首都ソウルからの行政官庁の大移転が急ピッチに進められております。

場所はソウルから東南120km離れた忠清南道公州市と大田広域市にまたがる地域（東経127度、北緯36度）です。

図1 南北朝鮮と新都世宗市の位置



図2 世宗市の位置



新都の名前「世宗」は、ハンゲル創製で名高い15世紀朝鮮の王、世宗（1418～50）に因んで名づけられたものです。

5年前に、この場所を訪れたときには新都移転反対のムシロ旗が林立しておりましたが、今回11月に訪れた時には土地買収も終わり、ムシロ旗は消え、新都建設の第一期工事が始められておりました。都市のインフラ（道路など）と合わせて、一部行政官庁の建物も建ち、隣り合わせに高層住宅棟が数本立ち上がり、既に入居が始まっておりました。

今回、私の友人でこのプロジェクトに参画していた文釵博士が現地の案内役を買ってくれて、2012年11月に先発隊の国務総理室が移り、2013年には国土海洋部をはじめ、予定された政府機関はほぼ全部が移転するという事です。2014年には公団、公社、研究所なども移転する段取りになっているという事でした。

新都、世宗市の建設は始まったばかりですが、この地域は、北西に錦北山脈、南に錦南山脈、東に漢南・錦北山脈が連なる大きな盆地で、水量の豊かな国家河川、錦江と美湖川が流れております。韓国の四神相応の地に違いありません。

11月の新都建設の地は紅葉の秋、大河、錦

江に夕日が映えており、韓国が“名品”美しい都市づくりを目指す国力をかけたこのプロジェクトの図柄が幾重にも重なっていました。

図3 予定地の起伏と河川



(出所: 行政中心複合都市建設庁「行政中心複合都市建設事業 開発計画」(2006年11月))

2. 韓国の首都機能移転の経緯

韓国における首都問題は、現在、朝鮮(韓)半島の南北分断状況と密接に関わっております。将来、仮に南北が統一された場合の新国家の首都はソウルかピョンヤンか、二つの首都か、本格的な新しい統一国家の新首都づくりが新しい場所を得て壮大に始まるのか。この思考実験的な首都移転論はともかくとして、今度の新都「世宗」の計画と建設は、大韓民国における首都ソウルの過大、過密問題解消が主たる目的です。

韓国の首都圏(ソウル特別市、京畿道、^{キョンギドウ}仁川広域市-国土面積の11.8%)への人口、^{インチョン}諸機能の集中を示すデータとして、まず、韓国の人口約5,000万人(2012年)のほぼ50%が集住しています。ソウル特別市の人口は1,052万人(2012年)です。

100大企業本社の91%、公共機関の85%、金融機関の67%、教育機関、大学については38%が首都圏内に所在しています。

このように、現在、ソウル首都圏には人口、首都機能、経済中枢機能、教育文化機能など

が一極集中しております。

朝鮮半島の南北分断下、1970年代に入って韓国の首都移転について、時の大統領が大きな意欲を示してきました。

- 1971年 金大中新民党大統領候補、首都移転に言及。
- 1977年 朴正熙大統領、首都移転計画公表。しかし大統領が急逝し、かつ経済危機もあり、沙汰やみになる。
- 2002年 盧武鉉大統領、選挙公約として首都機能移転発表。
- 2004年 大統領府、国会、行政を含む、首都建設のための特別措置法制定。しかし憲法裁判所による同法の違憲決定があり、
- 2005年 一部の行政機関移転に限定した「行政中心複合都市特別法」制定。
- 2006年 新都国際アイデアコンペ実施。
- 2007年 新建設計画立案。行政中心複合都市建設着工。移転対象機関(15部2処18庁のうち、9部2処2庁)
- 2008年 李明博政権下、行政中心複合都市の中に、教育、科学、文化、産業を加える。目標人口50万人(2030年)。

以上が大まかな新都「世宗」の建設に至る経緯です。

3. 世宗特別市計画の概要

新都の実施計画は2006年に行われた国際アイデアコンペティション1等案(The city of thousand cities、Perea Ortega、Anares氏-スペイン)をコンセプトとして採用したものです。

コンペ1等案では、都心内の河を含む中央緑地空間を自然のままに残し、その周りに都市群、居住空間を配置し、更にその周りを緑地が包むというものでした。

この案のコンセプトをベースにして、実施案は、1-中央行政機能、2-文化・国際交流

機能、3-地方行政機能、4-ハイテク産業機能、5-医療サービス機能、6-大学研究機能などをクラスター状に段階的に配置して、それぞれに対応した住区（生活圏）を築くというものです。計画人口は2030年50万人としています。

図4 国際コンペティションー等案



図5 世宗市実施案(機能クラスター)



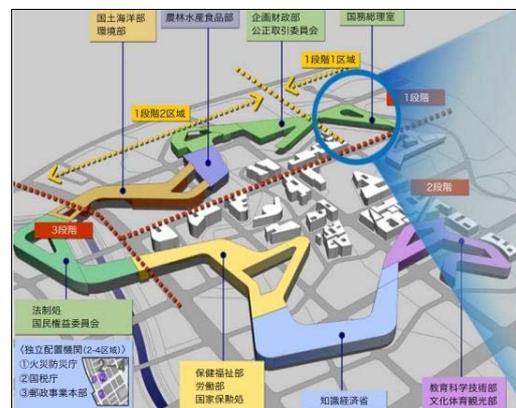
Sejong 世宗のコンセプトについては、紹介パンフレットなどに

「アジアの未来に向けた緑のメガロポリスをつくる」 「世界の名品（品格のある）幸福都市の建設をめざす」

とあります。

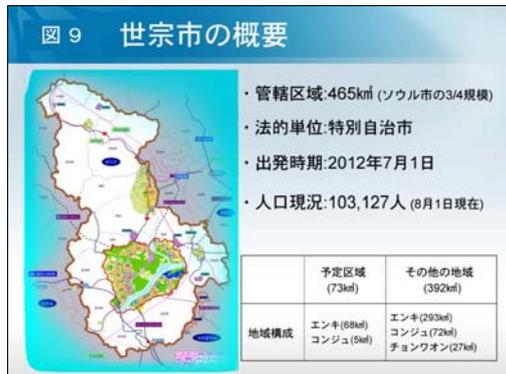
グローバル化の中で設定したコンセプトに向かって、新都が韓国の文化、伝統、歴史がどのように盛り込まれるのかも興味深い点です。

図7 行政官庁の配置模型



建築については初めに出現する行政中心の官庁街—Government Complexが直線を屈折させて連続させていますが、これがどのような効果を現すかに興味を感じます。また、徹底した環境建築、緑化建築を目指している様子ですが、これについてのメンテナンスについてもどのようにするのか、市民参加なのか

などに興味をひかれます。



注) 世宗は世宗特別自治法により2つの区域からなる。

- ① 行政中心複合都市法による区域 (73 Km²)
行複都市を幸福都市と呼んでいる
- ② 地方自治団体特別法による区域 (393 Km²)

4. ソウルから世宗市への首都機能移転によって起こる問題点

新都建設については韓国内にはいくつかの議論があるようです。

- 1) 今、韓国が試みている分都形式の首都機能移転は、ソウルに残る官庁、大統領府、国会、官公庁などと、世宗市に移転する行政官庁がどの程度、いかに連絡し合うのかが、当面する問題点です。高度に発達した情報メディアを活用することで、120km程度の空間距離は問題ではないのではないかと、対面的情報交換は不要ではないかと、新都世宗市に移動した政府役人の方々に尋ねてみたのですが、「物事を決めるのは人と人が対面的に会話によるのが韓国文化なのです。」という印象深い答えでした。「国会開催中には3日もソウルに張り付いている」とも言っておりました。
- 2) 世宗市へは単身赴任か、家族一緒かも問題点です。これについては、世宗市の住環境如何が大きく関わっていること、特に

小・中・高校などの教育環境の良否が決め手になると、韓国の友人達は口々に語っておりました。現状において、ソウルは教育環境が抜群に整っているのは確かです。

- 3) 政府機能の他に想定される諸機能の移転は順調に進むかという議論もあります。政府機関の他に、公社、公団などの移転も予定されていますが、移転費用調達はソウルの土地売却が前提です。これについては今後の韓国の経済状況が大きく関わることで

- 4) ソウルと120kmでは、新都世宗も首都圏に組み込まれるのではないかと議論もあります。この点については、ソウルに集中している諸機能をまず世宗に先行的に移転させ、合わせて革新都市、企業都市を分散的に全国の拠点地域に建設する、というのが韓国の均衡ある国土発展計画の筋書きです。

今回の韓国訪問は檀国大学65周年記念式典に招かれてから1年半ぶりでしたが、多くの韓国の友人と日・韓の首都移転問題、日本の3・11後の地震災、原発問題、日韓の交流などについて大いに論じ合いました。

韓国は今、急速な経済成長を遂げる一方、グローバル化、少子高齢化など、日本と同様の社会経済状況にあります。南北問題もあります。次期大統領を決める選挙もたけなわでした。

新都世宗の見学については、世宗市に大学の展開を考えている張忠殖檀国大学名誉総長

には多方面にご配慮いただきました。そして
金英夏 檀国大学硯座教授、文叙 Sungkul 大
学教授、Kwon,Sang-Daegyousei 行政中心複合
庁都市建設省都市計画課長には直接現地で計
画や実施状況について説明をいただきました。

お世話になった方々に感謝申し上げるとと
もに、新都市世宗の建設が韓国の国土、都市、
地域問題の解決の先兵となってほしいと願い
つつ世宗・ソウル・韓国を後にしました。

2012. 11. 20

【参考文献】

1. 「平成 21 年度 韓国行政中心複合都市を巡る最新
動向等に関する調査 報告書」平成 22 年 3 月 国
土交通省国土計画局
2. 「政中心複合建設事業 開発計画変更」2010. 7. 28
韓国行政中心複合都市建設庁
3. 「Sejong Korea Asia's Green Metropolis of Future」
(パンフレット) 行政中心複合都市建設庁

現 況 写 真 集

新都市予定地



住居棟のショップ



錦江川と新しい橋



住居棟群



国務総理府



住居棟群



Ministry for Food, Agriculture, Forestry and Fisheries



(農林水産食品部 略称：MIFAFF)

住居棟群



(戸沼幸市 平成24年11月4日撮影)